

施策評価シート（令和元年度実績）

施策名 10 高齢者がいきいき暮らせる地域をつくる

1. 施策の体系と担当課			施策コード	020010
第5次総合計画	将来像	2 誰もが地域で健やかに ともに支え合うまち		
主管課	福祉部	高齢介護課		
関係課	福祉部	市民福祉センター、福祉部 やすらぎ老人福祉センター		

2. 施策の目標	
10年後の目標	
本市の地域特性に合った地域包括ケアシステムが構築され、高齢になっても、介護が必要になっても、生きがいをもち、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちになっています。	
10年後の目標に向かっての主な取組み	
市の取組み	
○貝塚市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域の実情に即した認知症施策の推進、医療と介護の連携の強化、地域包括支援センターの機能強化、介護サービスの基盤整備など計画に沿った事業を展開し、地域包括ケアシステムを確立します。 ○高齢者の尊厳を守り、その人らしく地域で安心して生活できるよう権利擁護を推進します。 ○住民主体・協働を理念として、すべての高齢者が自ら身近な場所で継続的に健康づくりや介護予防、生きがいをづくりに取り組むことができるよう支援します。 ○介護保険事業の運営にあたっては、利用者の状態に合わせた適切な介護認定、給付を維持します。 ○地域密着型サービス等介護サービスの基盤整備を計画的に進めます。	
市民・団体・事業所等の取組み	
○認知症を正しく理解し、高齢者の尊厳を守ります。 ○高齢期の健康づくり、介護予防に積極的に取り組みます。 ○社会福祉協議会は地域ボランティアの育成とともに小地域ネットワーク活動を推進し、地域での生きがいをづくりに主体的に取り組みます。 ○医療・介護関係者は市と連携し、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の整備を図ります。 ○シルバー人材センターは高齢者の多様なニーズに対応した就業機会を確保し、提供します。 ○介護保険事業者は相互の連携強化と緊密な情報共有に取り組みます。	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らすためには、介護保険サービスだけでは対応できないことが予想される。介護予防・日常生活支援総合事業など、高齢者を社会全体で支える仕組みづくりである地域包括ケアシステムを構築する必要がある。	
新たな市民ニーズ	
住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会環境が求められている。	

4. 施策にかかるコスト								
			単位	H30予算	H30決算	R元予算	R元決算	R2予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		17.99		18.0	
		嘱託員数			6.33		5.86	
	人件費	直接人件費	千円		135,563		131,548	
		間接人件費			15,665		9,940	
	直接事業費			9,375,404	8,755,510	9,534,776	8,010,586	9,978,162
	間接事業費				381		541	
	フルコスト			9,375,404	8,907,119	9,534,776	8,152,615	9,978,162
財源内訳	使用料及び手数料		千円	122	1	96	126	168
	国庫支出金			1,722,993	1,615,025	1,761,398	1,703,303	1,840,437
	府支出金			1,017,913	952,994	1,024,668	962,858	1,069,222
	市債							
	その他			3,905,310	3,667,502	3,933,422	3,761,536	4,164,127
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）			2,729,066	2,671,597	2,815,192	1,724,792	2,904,208
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）			2,729,066	2,519,988	2,815,192	1,582,763	2,904,208
備考								

5. 施策の成果指標

成果指標1		要介護認定を受けていない高齢者の割合					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
%	令和3年度	80	増加	78.4	77.9	80	80
成果指標2		二次予防対象者割合					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
%	令和4年度	25	減少		26.4	25	25
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和元年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費 人 件 費				方向性		所 見
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）			
老人センター 運営事業 (福セ)	老人センター延べ利用者数 （クラブ関係及び設備利用者）			1,264	1,230	1,188	1,341	成果	簡易評価	
	R元実績	28,345	人					資源 配分		
	最終目標値に 対する達成率	70.8%		775	772	776	0			
老人福祉法措 置事業 (高齢)				10,871	11,556	11,660	16,196	成果	評価対象外	
	R元実績							資源 配分		
	最終目標値に 対する達成率			3,184	3,047	2,232	0			
長寿を祝う事 業 (高齢)	長寿を祝う事業における対象者数			5,758	5,935	6,584	9,131	成果	B：現状維持	高齢者が長寿をめざし、元 気にいきいきとした生活が送 れるような励みになる。
	R元実績	788	人					資源 配分	B：現状維持	
	最終目標値に 対する達成率	88.2%		4,126	8,604	5,977	0			
老人医療助成 事業 (高齢)	老人医療費助成件数			181,152	92,563	32,902	40,323	成果	C：縮小や統 合を検討	福祉医療再構築による制度 改正が府下統一で実施され、 老人医療助成については令 和2年度までの経過措置事業 であるため、利用者に混乱が 生じないよう十分な周知、説 明に努める。
	R元実績	13,139	件					資源 配分	C：縮小や統 合を検討	
	最終目標値に 対する達成率	-		5,392	6,253	5,218	0			
後期高齢者医 療制度事業 (高齢)				1,963,992	2,004,138	1,031,395	2,199,404	成果	評価対象外	
	R元実績							資源 配分		
	最終目標値に 対する達成率			17,981	22,344	15,760	0			
介護保険資 格・賦課徴収 事業 (高齢)				6,514	7,852	7,094	8,885	成果	評価対象外	
	R元実績							資源 配分		
	最終目標値に 対する達成率			14,999	16,054	16,629	0			
介護保険給付 事業 (高齢)				6,242,367	6,328,500	6,611,061	7,356,070	成果	評価対象外	
	R元実績							資源 配分		
	最終目標値に 対する達成率			16,044	14,962	15,837	0			
要介護・要支 援認定事業 (高齢)				59,070	53,585	56,984	45,339	成果	評価対象外	
	R元実績							資源 配分		
	最終目標値に 対する達成率			28,552	31,639	29,699	0			

包括的支援事業 (高齢)	総合相談件数			60,754	60,561	60,723	63,962	成果	簡易評価	
	R元実績	3,946	件					8,486	8,021	
	最終目標値に対する達成率	93.9%		資源配分						
高齢者日常生活支援事業 (高齢)	認知症サポーター養成講座参加者数			30,687	27,465	28,314	51,004	成果	A：向上を図る	認知症高齢者や介護者への理解を深め、見守る仕組みを構築するため、認知症サポーターの養成に努める。
	R元実績	495	人					6,127	6,506	
	最終目標値に対する達成率	55.0%		資源配分						
介護保険事業計画等策定事業 (高齢)	アンケート（日常生活圏域ニーズ調査）送付件数			0	0	5,113	2,494	成果	簡易評価	
	R元実績	5,500	件					0	0	
	最終目標値に対する達成率	-		資源配分						
高齢者在宅支援事業 (高齢)	緊急通報装置設置台数			1,474	1,445	1,012	2,164	成果	B：現状維持	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、今後も引き続き、緊急通報装置の貸与や日常生活用具の給付を継続する。
	R元実績	101	台					6,864	5,772	
	最終目標値に対する達成率	-		資源配分						
団体支援事業 (高齢)	老人クラブ会員数			18,379	17,941	18,383	19,021	成果	簡易評価	
	R元実績	5,153	人					5,581	5,312	
	最終目標値に対する達成率	97.2%		資源配分						
介護予防・日常生活支援総合事業 (高齢)	介護予防教室参加者数			93,712	141,050	136,528	162,085	成果	簡易評価	
	R元実績	1,800	人					11,673	11,996	
	最終目標値に対する達成率	78.2%		資源配分						
社会参加促進事業 (やす)	来館者数			1,710	1,689	1,645	743	成果	A：向上を図る	市内に居住する高齢者の社会参加を促進する。
	R元実績	14,339	人					9,710	9,946	
	最終目標値に対する達成率	-		資源配分						

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	75歳以上の後期高齢者の要介護認定者の増加割合が特に大きかったことから、要介護認定を受けていない高齢者の割合は目標を達成できなかった。また、生活習慣などにより要介護状態となるリスクの高い高齢者の割合については、平成28年度の27.1%から令和元年度には26.4%となり、令和4年度の目標値（25%）に近づいた。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性
高齢者の安心で自立した生活を地域で支えるための地域包括ケアシステムの充実や、医療と介護の連携による健康寿命の延伸など、誰もが身近な地域で、お互いを支え合い尊重し合いながら安心して暮らすことができるよう、福祉施策の総合的な推進に取り組んでいく。